

■ 現状と課題

人々のライフスタイルが多様化する中、心の豊かさや質的充実を志向し、自己実現やゆとりを実感できる生活への関心が高まっています。

本市では、生涯学習センターを中心に、公民館や青少年センターなどの生涯学習拠点施設との連携を図りながら、市民のライフステージに応じた各講座の開催や、生涯学習サポートバンクの効率的かつ効果的な運用を行うなど、市民の生涯学習活動の支援に努めてきました。今後は、個人の価値観の多様化などに対応できる、魅力あふれた学習機会の提供に努めるとともに、市民がいつでも、どこでも、学びたいことを主体的に学習できる生涯学習環境の充実が求められます。

また、重要な生涯学習拠点の一つである図書館については、電子媒体を含めた図書資料の充実や市民目線に立った学習環境の整備を進めてきましたが、引き続き、図書の充実やサービス機能の向上に努める必要があります。

さらに、市民の生涯学習活動を担う人材の発掘や育成が求められます。

■ 基本方針

社会生活の多様な変化に伴い、多様化・高度化する学習ニーズに的確に対応し、市民が生涯を通じて自主的・主体的に学ぶことができる場や機会の提供に努めます。

また、生涯学習活動に関する情報や相談体制の充実と努めるとともに、自らが主体的に生涯学習活動に関わることができる人材の育成に努めます。

■ 政策展開の方向

(1) 生涯学習推進体制の整備充実

「生涯学習推進プラン」を策定し、いつでも、誰でも、学びたいことを主体的に学習できる機会や環境の整備に努めるとともに、学社連携の推進や社会教育・生涯学習団体等の育成支援により、連携・協働による生涯学習推進体制の充実を図ります。

また、総合的な生涯学習関連施策を効率的かつ効果的に推進するとともに、生涯学習の拠点となる生涯学習センターや公民館などの機能充実と効率的な活用に努めます。

(2) 学習情報の提供と相談体制の充実

生涯学習センターを拠点として、生涯学習に関する各種情報を収集・整理し、学習内容や施設の状況など適切な学習情報を提供できる、効率的なシステムの充実を図るとともに、公民館などでの市民の主体的な生涯学習活動を支援します。

また、収集した情報を活用した学習相談体制の充実や、生涯学習サポートバンクの登録者の増加と利活用を促進します。

(3) 魅力ある学習機会の提供・拡充

環境、健康、福祉問題など、市民のライフステージに応じた学習ニーズを的確に把握し、学習機会の充実と学習内容の多様化・高度化を図るため体系的な学習プログラムの構築に努めます。

また、市民ボランティアや市民団体との連携により、学習の機会や内容の向上を図ります。

(4) 読書活動への支援の充実

図書館を生涯学習拠点の一つとして、利用者の関心と楽しみに応える多様な図書資料の継続的な充実を図るとともに、市民にとって利用しやすく、生涯学習意欲が高まる図書館になるよう、高度検索機能やレファレンス対応などのサービス機能の向上に努めます。

また、活字離れが深刻化する中、「子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもを中心とした読書の習慣の育成や読書相談などを展開するとともに、学校図書館や公民館等との連携により、市民の読書環境の整備充実に努めます。

(5) 人材の育成

生涯学習の指導者としての資質を有する人材を、地域の中から発掘するとともに、自らが主体的に活動できる人材の育成や資質の向上に努めます。

また、そうした人材の積極的な活用やネットワーク化を促進し、生涯学習環境の充実に努めます。

■ まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値（H23）	後期目標（H28）
①生涯学習サポートバンク登録数（個人）	127人	180人
②生涯学習サポートバンク登録数（団体）	154団体	200団体
③図書貸出密度（貸出総数/人口）	4.8冊	5.8冊
④図書館蔵書総数	183,185冊	195,600冊
⑤児童書貸出冊数	85,891冊	98,800冊

■ 主要な事業例

	後期					担 当
	H24	H25	H26	H27	H28	
生涯学習推進プラン※	策定 →					文化・生涯学習課
生涯学習サポートバンクの充実	→					文化・生涯学習課
生涯学習講座の充実及び情報提供	→					文化・生涯学習課
魅力ある学習機会の提供・拡充	→					文化・生涯学習課
レファレンス対応など図書館のサービス機能の充実	→					図書館
子どもの読書活動推進計画の推進	→					図書館
人材育成のための指導者の養成と確保	→					文化・生涯学習課

■ 現状と課題

昨今の健康志向の高まりや余暇時間の増加を受けて、健康づくり・体力づくりという視点に加えて、地域での交流・親睦、心身の健全な育成や社会性を養うことなどを目的に、活発なスポーツ活動が展開されています。

本市では、これまで、光市体育協会や光市スポーツ推進委員協議会等と連携を図りながら、競技スポーツだけでなく、生涯スポーツやニュースポーツの普及、市民が気軽に参加できるイベントや教室の開催などに努めてきました。また、地域における主体的な活動も進んでおり、総合型地域スポーツクラブの設立など、各種の健康スポーツやレクリエーション団体の活動も活発化しています。

こうした中、本市では、山口国体で、セーリングやバドミントン、レクリエーション卓球が開催され、スポーツに対する市民の関心も大きな高まりを見せていることから、この気運を一過性に終わらせることなく、市民一人ひとりが、年齢を問わず気軽にスポーツに関わることができる環境づくりを進める必要があります。

また、スポーツを楽しむ環境とスポーツを通じた交流の輪を次世代につなげるための指導者、後継者を育成していくことが求められています。

■ 基本方針

国体を契機に、スポーツの楽しさや交流の輪を次世代につなげるとともに、市民のスポーツ意識の向上と、指導者等の育成を推進します。

また、子どもからお年寄りまで、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりなど、市民一人ひとりが何らかのスポーツに関わる活気あふれる社会を構築するため、「スポーツ推進計画」を策定します。

■ 政策展開の方向

(1) 生涯スポーツの普及とスポーツ意識の高揚

市民一人ひとりが、年齢や体力、興味に応じたスポーツに取り組める環境づくりを進めるとともに、スポーツイベントや教室の開催など、多くの人々がスポーツを楽しみ、自主的なスポーツ活動を通して交流できる機会の充実を図ることにより、生涯スポーツの普及を促進します。

また、山口国体の成果を本市のスポーツ振興や地域の活性化につなげるため、スポーツ団体の活動に対する支援の充実を図るとともに、市民のスポーツへの関心を高めるため、学校における部活動の活性化や関係団体及び指導者の育成・強化などによる競技力の向上を目指します。

(2) スポーツ・レクリエーションの推進体制の充実

市民の健康維持や体力向上を図り、市民一人ひとりが主体的にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ・レクリエーションの必要性についての意識啓発に努めるとともに、関係機関との連携による普及活動を促進します。

また、総合的かつ計画的なスポーツの振興を図るため、「スポーツ推進計画」を策定します。

(3) スポーツ・レクリエーション環境の充実

自然環境を活かしたスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、冠山総合公園や「周防の森ロッジ」等の環境の整備に努めるとともに、「ひかり環境・健康ウォーキングマップ」を活用したウォーキングの取組みなど、光市の特性を活かしたソフト面の充実を図ります。

また、各種施設の管理運営体制の見直しと施設予約システムの充実を図るとともに、既存施設の有効活用や学校施設の開放など、スポーツ施設の効率的な運営に努めます。

■ まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (H23)	後期目標 (H28)
①スポーツの振興に関する満足度	32.1%	40.0%
②週1回以上運動・スポーツをする人の割合 (1回30分以上)	36.0%	50.0%

■ 主要な事業例

	後期					担 当
	H24	H25	H26	H27	H28	
スポーツ推進計画※	策定 →					体育課
各種スポーツイベント・スポーツ教室の開催						体育課 健康増進課
ニュースポーツの普及推進						体育課
総合型地域スポーツクラブの推進						体育課
競技力向上に向けた支援						体育課 学校教育課
指導者の確保・育成						体育課
学校体育施設の開放や施設管理の充実						体育課 教育総務課
周防の森ロッジと周辺野外活動エリアの活用						文化・生涯学習課
自然環境を活かしたスポーツ・レクリエーション活動の推進						体育課 関係各課

